

令和7年度第1回「知立市人にやさしい街づくり」推進協議会
議事録（概要版）

1. 知立市人にやさしい街づくり推進計画の進捗状況について

資料1号：知立市障がい者計画（はっぴいぷらん）進捗状況について

資料2号：知立市人にやさしい街づくり対応事業調査票について

(1) 全体質問等

【事前質問】 後藤委員

年々、トイレ改修工事やバリアフリー化は進んでいると思いますが、より一層進むことを期待しています。

【回答】 建築課長

今後も公共施設の整備においてご意見いただきました内容を踏まえ、尽力していきたいと思います。

(2) 資料1号（知立市障がい者計画（はっぴいぷらん）進捗状況についての質問等

【感想】 園田委員

障がい者職業雇用率について、今年度は2.5%ですが、来年度の7月からは2.7%に上がることが決まっております。一人でも多くの障がい者の方が働く場を確保し、企業の中で働ける状況を作るには、どんな方がいて、どのような特性があるかを知っていただくことが大切だと思います。

【感想】 永井委員

就労の話が出たのでお話しをします。障がい者の方は、学校に通っているときは、学校の先生も一生懸命探してくれるため、その人にあった職場に就職できるが、学校卒業後は、職業安定所に行って探さなければならず、その障がい者の方の個性まですぐにわからず、どう伝えていいか分からない。窓口は広くはなったとは思いますが、障がい者の方は個性が一人一人違うものですから、その人にあった職場を見つけるのは難しいと思います。職場の方もきっちりとした対応と紹介もしてくださるのですが、選択肢がまだまだ少ないのが現状と思いました。

【感想】 高橋委員

昨年度から福祉健康まつりと草の根フェスティバルを一緒にやらせていただいています。福祉というのは、決して一部の人たちではなく、市民全体のものとして捉えるということが、まだまだ進んでいないと思います。福祉という名前が出ると、内輪の祭りみたいになってしまい、広く、市民の方に参加していただけないのが課題です。市役所の方も、顔を少しのぞいてみてください。きっと心に響くものが持って帰っていただけるとと思います。

(3) 資料 2 号（知立市人にやさしい街づくり対応事業票）について

【質問 1】 高橋委員

昭和 6 号公園の遊具の新設について、既存遊具の撤去をして、地域特性を考慮した遊具を設置とありますが、具体的にはどのようなことを目指していますか。もう 1 点は、知立団地内のケヤキの木を伐採するとの話を聞いており、それについても詳しく教えていただけないでしょうか。

【回答 1（質問 1 の公園について）】 都市計画課長

地域特性としては団地の高齢化が進んでいるということです。そのため、この特性を踏まえ、複数の学会の方と協議をしました。協議の中で老人向けの健康器具等の提案もいただき検討しましたが、既存の年齢対象の遊具と混在することになり、好ましくないという結論に至りました。よって年齢対象の低い複合遊具を設置することになりました。

【質問 2（回答 1 について）】 高橋委員

外国籍の方には聞かれましたか。あの辺りは外国籍が多く、小さな子供を連れている方が多いです。

【回答 2】 都市計画課長

現在のところは、年齢対象が低い複合遊具を設置する方向で整理しています。また、相談をできるような窓口等がありましたら、一度相談させていただきたいと思えます。

【回答に対する助言】 高橋委員

団地の自治会等に相談いただけると良いかと思えます。

【回答 3（質問 1 の街路樹について）】 土木課長

知立団地内のケヤキの木についてですが老木化が進んでおり、木の枝が落下するという状況を確認しています。業者と一緒に調査をし、枝のみを剪定することも検討しましたが、逆に老木化が進行してしまい、倒木の恐れが考えられますので、伐採させていただくことになりました。

【質問 4（回答 3 について）】 高橋委員

工事は発注されているのでしょうか。

【回答 4】 土木課課長

工事については発注済みです。

【街路樹の伐採に対する要望】 高橋委員

団地の自治会の方より、詳しい説明がなかったという話を聞いていますので、説明していただけるとありがたいです。

【要望に対する回答】 土木課長

町内会の区長、関係者と立会をし、現地状況を説明させていただき、ご了承をいただいたうえで、工事を進めていただいております。

【感想】 永井委員

昭和6号公園に限っては他の公園と風景が少し違い、昼間も木陰で、子供連れの方も、そうでない方も、お話しをしているのを見ております。そのため、大人の方が多い公園であるという印象を受けております。木は寿命があり、枝が折れて危険ということは分かりますが、公園は自然に特化した場所だと思っておりますので、地球の変化に伴うような公園を検討いただけたらと思います。

【感想】 蔭山会長

都市計画の専門の先生から、知立市は植栽が少なく、何かあるとすぐに伐採してしまうと話しを伺ったことがあります。問題が発生する恐れがあると、伐採してしまうことは仕方がないとは思いますが、一般の人から見ると、植栽がないのは寂しく思い、知立市から無くなってしまふのが心配です。樹木が無くなることは、人にやさしくないと思っておりますので、伐採するのであれば、その後のケアについて考えることもご提案いただきたいと思っております。

【質問5（公園の遊具について）】 高橋委員

遊具については、インクルーシブ遊具について検討しましたか。新地公園に設置したような遊具を取組んでいただくのが良いかと思っております。

【回答5】 都市計画課長

遊具の設置を計画した際に、永井委員にご相談させていただいたところ、インクルーシブというのは、どんな立場でも使えるようなものであり、そこに乗り入れる駐車場の整備も必要であり、まとまった整備をしたほうが良いとアドバイスをもらいました。昭和6号公園については、近くに乗り入れる駐車場もありませんし、設置する遊具は1基程度のため、この後説明があります、知立駅周辺の整備における駅前公園や堀切公園のような、街の主となる公園を整備するときに計画できたらと考えております。

【質問6（回答5について）】 高橋委員

それは予算も関係していますか。インクルーシブ遊具だと普通の遊具よりも高価になると感じます。

【回答6】 都市計画課長

新地公園につきましても、遊具更新をするためにインクルーシブ遊具を8基、様々なタイプの遊具を複数設置しましたので、そういった遊具を整備するには、それなりの予算になります。

2.その他について

資料4-1、4-2号：知立市ユニバーサルデザイン推進計画・重点地区整備地区の中間報告について

資料 5 号：知立駅前広場について

- (1) 資料 4-1、4-2 号（知立市ユニバーサルデザイン推進計画・重点地区整備地区の中間報告について

【感想】 谷田委員

ハード整備をするうえでは作り方が大事であって、最後の成果を気にするにあたり、どう作っていくかというプロセスは大事な観点だという感じで聞いておりました。先ほどの遊具や木の伐採の話もそうですが、市民、地域住民がどう関わっていくかというところに注力しても良いのではないかと思います。プロセスの中で住んでいる人をうまく巻き込むことがこれからは必要かと思います。そうすることで、ものに対する愛着や体制も構成され、最終的に人にやさしい街につながると思います。人をいかに関わらせていくことを意識することで、在り方が変わりますし、取組んでいくことでハッピーな市になると思います。

- (2) 資料 5 号（知立駅前広場について）

【事前質問と追加質問】 豊田委員

知立駅前のバス停に屋根がありますが、雨天時にはベンチが濡れてしまい利用できません。また、バス停の完成はいつ頃になりますか。

【回答】 都市開発課長

現在の知立駅前のバス停にあっては屋根があっても全方向に壁を設置できるような構造ではないので、風が強い日は雨が差し込む場合があります。そのような時は、拭いていただき利用していただきたいのが現状でございます。新たに作る駅前のバス停については、シェルターの幅や高さを工夫しながら、なるべく濡れない構造にしていきたいと思っております。完成については連続立体交差事業が令和 10 年度に完成を予定しているため、令和 9 年に着手していきたいと考えております。工事については、1 年で終わるかが分からず、バスの運行状況等もありますので、段階的に施工する必要があります。ですので、令和 10、11 年ごろに完成していきたいと考えております。

【感想】 永井委員

障がい者駐車場のスペースがあるということを紹介していただき、私も障がい者の立場として注目していました。一つ間違われているのは、駐車場ではないことから、車を駐車することが出来ないことです。そこで乗り降りできるというスペースと解釈しています。時間帯によっては、一般車両の流れが多く、スムーズにいかないと渋滞しますので、それに対する工夫がされていることと、説明の中でされていた、改札に直結しており、雨に濡れない工夫がされているので車椅子を使用の方が駅まで送ってもらい、名鉄の方が電車に乗せていただけるという、安心感が伝われば良いと思います。

【補足】 都市開発課長

駅前広場を見に行ったりすると、障がい者の方が利用されているのを確認します。ご

高齢な方や、足が悪い方、小さな子供を連れている方にも配慮するような駅前広場に
していく気持ちであります。また、一般車駐車を設けていますので、そこで賄えれ
ばと思います。バス停も現時点で4箇所設けておりまして、1番手前にミニバスの配
置も検討しておりますので、何かお気づきの点がございましたらご意見いただけ
らと思います。

【質問】 永井委員

先ほどから樹木の話が出ており、それを考えて整備してほしいのですが、駅前にか
つて大きな木があり、鳥による糞害の問題が懸念されます。緑については、検討して
ほしいのですが、鳥の問題に対する対策は考えているのでしょうか。

【回答】 都市開発課長

昔、ケヤキという木が駅前であって、ムクドリが集まり、歩行者に糞が落ちるといっ
たことがあったので、ネットを被せて対策を行っていましたが、ネットがあることで
見苦しいということから伐採をしました。現在の知立駅は、殺風景で潤いがないとい
うイメージで、緑も大切であるという意見もございます。そのため、背の低い樹木で
あれば、鳥と人の距離が近くなるので鳥が止まりにくいと考えています。